

## 事後調査報告書の概要について

## 1 一般国道 474 号三遠南信自動車道青崩峠道路

## (1) 事業の概要

① 事業者	国土交通省中部地方整備局
② 事業実施区域	飯田市南信濃（～静岡県浜松市天竜区）
③ 事業の内容	道路の建設
④ 事業の規模	車線数：2、延長：約 3.4 km（長野県側、静岡県側を含めた総延長約 6 km）
⑤ 条例該当	第 1 種事業：自動車専用道路の新設（規模要件無）
⑥ 関係地域	飯田市及び天竜村

## (2) 事業の経過

H18. 2	環境影響評価方法書公告
H19. 12	環境影響評価準備書公告
H21. 5	環境影響評価書公告
H25. 6	対象事業着手通知書提出

## (3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における水質、水象、植物、動物の調査結果を事後調査報告書として提出している。
- 水象
  - ・河川流量について、全地点とも降水量と連動した変化、流量の季節変動はみられるが、全体的な流量の減少はみられていない。
  - ・地下水について、水位低下が見られるが、小嵐川の流量等への影響は確認されていない。
- 水質
  - ・水質について、ヒ素を検出しているが工事着手前も同様の結果であり自然由来と推定。大腸菌群についても基準を超過しているが、土壌の微生物の影響と推定。
- 植物
  - ・イワオモダカについて、生育状況を調査。環境影響評価時よりも多い 18 箇所にて生育確認。
  - ・タチキランソウ、カヤランについて移植後（平成 25 年実施）の状況を調査。タチキランソウは、昨年度の調査では 3 株に減少していたが、本年度の調査では 7 株に増加。カヤランは、移植を行った 39 株のうち 22 株の生育を確認。移植した株のうち生育不良の 9 株の再移植を実施。
- 動物
  - ・クマタカについて、H28 調査では、幼鳥の飛翔、鳴き声が確認され、繁殖の成功を確認。H29 調査では、雌による抱卵を確認。（H27 繁殖なし。）
  - ・ベニモンカラスシジミの生育状況の調査及び食草であるコバノクロウメモドキの生育状況の調査を実施。ベニモンカラスシジミの幼虫、卵を確認。コバノクロウメモドキ植栽株、自生株の生育を確認。
  - ・アカイシサンショウウオ、ネバダゴガエルについて、移動後（抗口付近等の個体を H25 に類似環境へ移動）の生息状況を調査。それぞれ、成体、幼体を確認。
  - ・アカハライモリ、モリアオガエルについて、代替池での生息状況を調査。アカハライモリについては、H25 代替池でイモリの成体、H28 代替池で成体及び卵を確認。モリアオガエルについては、H25 代替池、H28 代替池でそれぞれ卵塊を確認。（H26、H27 はどちらも確認できなかった。）

## 2 長野広域連合 A ごみ焼却施設建設事業

### (1) 事業の概要

① 事業者	長野広域連合
② 事業実施区域	長野市松岡
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力：405 t / 日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設 処理能力 4 t / 時以上 (96 t / 日以上) に該当
⑥ 関係地域	長野市

### (2) 事業の経過

H20. 11	環境影響評価方法書公告
H23. 7	環境影響評価準備書公告
H24. 2	環境影響評価書公告
H28. 8	対象事業着手通知書の提出

### (3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における大気質、騒音、振動、水質、水象の調査結果を事後調査報告書として提出。
- 大気質
  - ・二酸化窒素、浮遊粒子状物質、降下ばいじんのいずれについても、予測結果を下回るとともに、保全目標を達成。
- 騒音
  - ・特定騒音について、時間によっては予測結果よりも高い値がみられるものの、保全目標を達成。
  - ・総合騒音について、予測結果、保全目標をいずれも上回っているが、平日と休日の騒音レベルにはほぼ差がないため、近接民家付近の騒音は隣接する市道松岡南線の道路交通騒音の影響であると推定。
  - ・環境保全措置により工事による影響の低減は図られていると判断されるが、住宅地を避けたルートによる通行を工事関係者へ再度周知徹底を図る。
- 振動
  - ・特定振動、総合振動について、予測結果を下回るとともに、保全目標を達成。
- 水質
  - ・水量について、予測結果を下回った。浮遊物質について、平常時の予測は行っていないため、予測結果との比較はできないが、保全目標を達成。
- 水象（地下水）
  - ・平成 28 年 10 月以降、地下水位は各調査地点とも緩やかに低下しているが、秋季から冬期に掛けての季節変動と推定。
  - ・10 月の掘削開始時、3 月の湧水の排水開始時も水位の変動傾向に変化は見られていないことから、保全目標を達成。

### 3 上伊那広域連合新ごみ中間処理施設建設事業

#### (1) 事業の概要

① 事業者	上伊那広域連合
② 事業実施区域	伊那市富県
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 118 t / 日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力 4 t / 時（96 t / 日）以上）に該当
⑥ 関係地域	伊那市

#### (2) 事業の経過

H22. 11	環境影響評価方法書公告
H24. 10	環境影響評価準備書公告
H25. 4	環境影響評価書公告
H28. 10	対象事業着手通知書の提出

#### (3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における大気質、水質、水象、動物の調査結果を事後調査報告書として提出。
- 大気質
  - ・降下ばいじんについて、事後調査結果が環境影響評価時の調査結果を下回るとともに、保全目標を達成。
- 水質
  - ・浮遊物質量、濁度、流量、水素イオン濃度について、いずれも事後調査結果が環境影響評価時の調査結果を下回るとともに、保全目標を定めている浮遊物質量については保全目標を達成。
- 水象
  - ・環境影響評価時の調査結果の水位と大きな差はみられないこと、事後調査の日毎の地下水位には大きな変動はないことから、工事による水位低下は生じていない。
- 動物
  - 猛禽類について
    - ・環境影響評価時の調査時に、古巣確認、繁殖は確認されなかった。H27 に他事業の調査で新たにオオタカの繁殖が確認されたため、平成 28 年繁殖期に調査を実施。
    - ・オオタカ 1 つがいの繁殖を確認。巣は対象事業実施区域から尾根等を隔てており、営巣林から対象事業実施区域は見通し不可。対象事業実施区域の利用はなく、周辺に本種の採食地となる樹林や林縁環境も広く分布。
    - ・営巣中心域にあたる巣立ち後の幼鳥の行動が確認されたエリアも、対象事業実施区域から尾根等を隔てて離れている。
    - ・非繁殖期に工事を開始するなど環境保全措置の実施により、対象事業の実施が繁殖に及ぼす影響は小さいと推定。
    - ・その他、クマタカ、ハヤブサを確認、周辺の利用や繁殖はみられなかった。
  - ベニモンマダラについて
    - ・平成 27 年に対象事業実施区域内の 1 箇所でクサフジの葉にベニモンマダラの卵塊を確認したため、卵塊が付着したクサフジごと掘取り、クサフジの繁茂する場所へ移植。
    - ・移植地点付近、周辺の草地でベニモンマダラの成虫を確認。
    - ・移植から 1 年後も引き続き対象事業実施区域周辺で生息が確認されたことから、ベニモンマダラの保全は適切に行われている。

## 4 新クリーンセンター建設事業

### (1) 事業の概要

① 事業者	佐久市・北佐久郡環境施設組合
② 事業実施区域	佐久市上平尾
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 110 t/日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力 4 t/時（96 t/日）以上）
⑥ 関係地域	佐久市、小諸市、軽井沢町及び御代田町

### (2) 事業の経過

H24. 7	環境影響評価方法書公告
H26. 4	環境影響評価準備書公告
H27. 4	環境影響評価書公告
H28. 6	対象事業着手通知書の提出

### (3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における大気質、騒音、振動、水象、植物、動物、触れ合い活動の場の調査結果を事後調査報告書として提出。
- 大気質
  - ・ 降下ばいじんについて、事後調査結果が予測結果を上回ったが、保全目標を達成。（要因：調査地点直近が土砂運搬ルートとなったため。）
  - ・ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質について、それぞれ予測結果を下回るとともに、保全目標を達成。
- 騒音・振動
  - ・ 建設作業騒音・振動は、1地点を除く3地点で予測結果を下回った。また、保全目標を定めた2地点については、保全目標を達成。（要因：計画変更により機械の同時稼働台数が変更）
  - ・ 道路交通騒音・振動は、予測結果を下回るとともに保全目標を達成。
- 水象
  - ・ 事後調査結果と評価書の調査結果を比較すると、ほぼ同様の水位であり、地下水位の低下はみられない。
- 植物
  - ・ ヤエガワカンバについて、移植した成木は順調に活着して生育状況に異常はみられない。H27に播種したプランターの幼木は順調に成長。H28に播種したプランターでも順調に成長。
  - ・ オニヒョウタンボクについて、移植した成木は一部で葉にカビが確認されたが生育に異常はみられなかった。播種は、プランター蒔きで5個体、床蒔きでは確認されなかった。
  - ・ ギンランについて、事業予定地内に新たに1個体が確認されたため、有識者のアドバイスを踏まえ、個体周辺の土壌とともに移植し、順調に生育している。H27移植先には、新たなギンランは確認されなかった。
  - ・ ナガミノツルキケマンについて、対象事業実施区域内で新たに生育が確認されたため、移植作業を実施、生育状況に異常なし。変更区域外に自生する個体も生育状況に異常なし。
  - ・ 変更区域外に生育し、粉じんの付着による間接的影響が想定されるノジトラノオ、ヌマガヤツリ、キクタニギクについて、生育状況に異常なし。
- 動物
  - ・ ベニモンマダラについて、幼虫の移動、食草であるクサフジの移植、移植後の調査を実施。移植先やその周辺で成虫の繁殖行動が確認されている。
  - ・ クリイロベッコウについて、移動後の調査、移動先の枠張り作業を実施。生貝、死貝を確認。
  - ・ ハチクマ、ハイタカ、ノスリ、サシバ、ハヤブサの生育が確認され、工事に対する警戒行動は確認されなかった。
  - ・ 対象事業実施区域から約1km離れた場所でノスリの繁殖を確認。
- 触れ合い活動の場
  - ・ 建設機械の稼働に伴う騒音・振動の事後調査結果を踏まえ、スキーガーデンパラダへの影響を検証。
  - ・ 建設作業騒音は、評価書の調査結果及び予測結果を下回った。
  - ・ 建設作業振動は、予測結果を上回ったが評価書の調査結果、振動感覚閾値 55 デシベルは下回っており、工事实施による触れ合い活動の場への影響はほとんどないと推定。